

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

おん ね ない

月刊 温根内 通信

2025年3月号 No.342

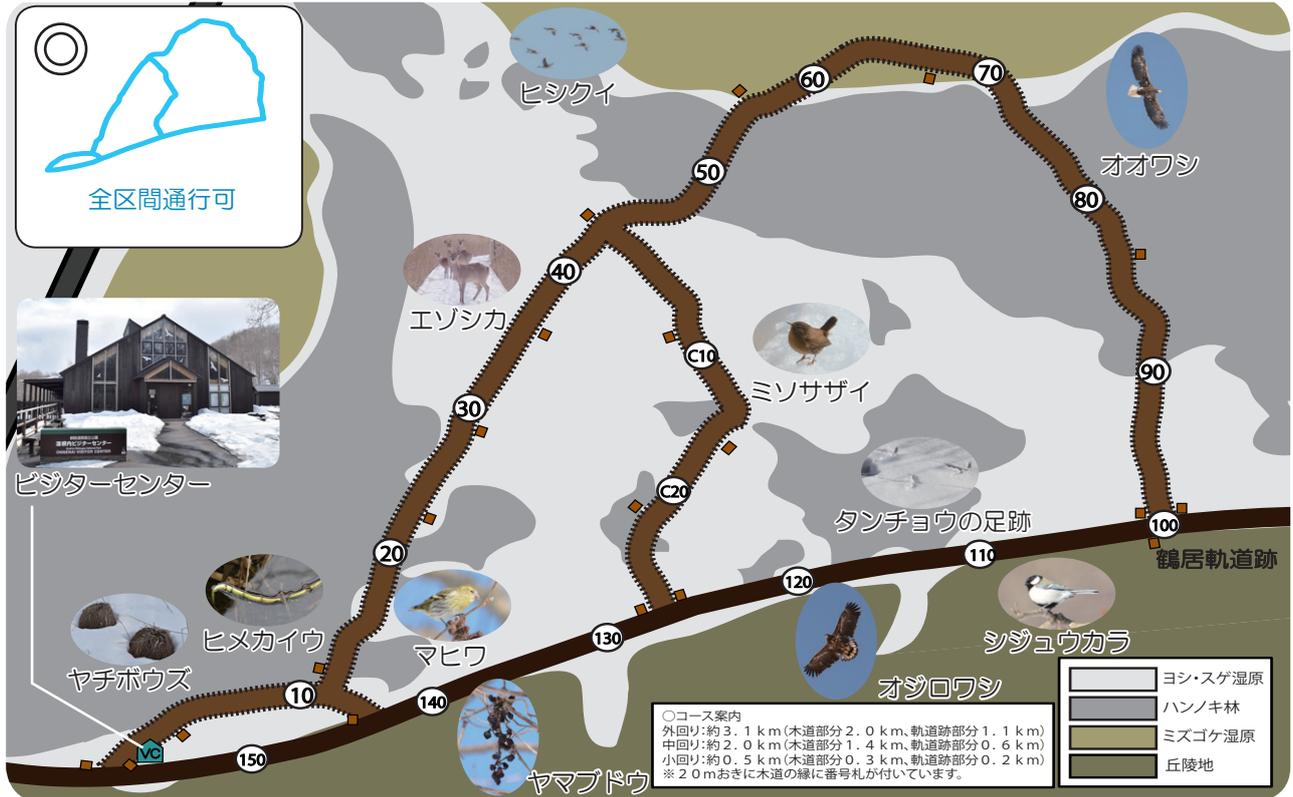
3月15日(土)発行



短い雪景色

今シーズンの降雪は変な感じでした。1月はいまいち物足りず経過し、かと思ったら2月初旬にすごいドカ雪に見舞われました。これで帳尻があったかな？…と思ったら、そこからまたほとんど雪が降らず、1か月間雪掻きもしない日が続きました。そして3月。妙に暖かい日が続いて雪解けが急速に進んでいます。一気に積もって一気に解けた雪。遠目に見える真っ白の雄阿寒岳が何だか恋しい…

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然 (2/15 ~ 3/14) ☆☆☆



【ヤチボウス】
 湿原の雪が解け、頭が見えてきました。この塊を作るカブスゲが頭頂部から新緑を芽吹かせるのはもう少し先です。



【ヒメカイウの根茎】
 サトイモ科 姫海芋
 6月頃にミズバショウに似た花が見られます。水中を横に横に根茎を伸ばしています。



【ヤマブドウの実】
 ブドウ科 山葡萄
 すっかり干しブドウ状態の実が今でも見られます。昨年は大豊作でしたが、今年はどうでしょうか。



【エゾシカ】
 シカ科 蝦夷鹿
 この日は木道の先で群れに待ち構えられ、通せんぼを食らってしまいました。多勢に無勢。



【タンチョウの足跡】
 ツル科 丹頂
 鶴居軌道跡の水辺沿いに続いています。盛んに餌を採りに来ているようです。



【テントウムシ(ナミテントウ)】
 テントウムシ科
 館内の日当たりのよい床を動いていました。春が近づき、昆虫たちの動きも見え始めてきました。

○表紙の写真 上:雄阿寒岳 下:新しくなった木道

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥 (2/15～3/14) ☆☆☆

釧路湿原には渡りの時期が訪れており、解け始めた湿原東側にある湖の湖面にはすでにヒシクイやオオハクチョウ等の水鳥が見られているようです。まだ冬鳥の姿も見られており、冬のバードウォッチングも楽しめます。そして夏鳥たちもそろそろやってくることでしょう。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しておりますので、お気軽にお声がけください。



【ミソサザイ】 夏鳥 (一部越冬)
ミソサザイ科 鶺鴒
木道の下から急に出て驚かされました。秋から継続的に見かけており、ここで越冬していたのでしょうか。



【オオワシ】 冬鳥
タカ科 大鷲
この冬も度々姿を見せてくれました。写真の個体は翼前縁が完全に白くなく、若い個体と思われます。



【オジロワシ】 冬鳥・留鳥
タカ科 尾白鷲
鶴居軌道跡のカラマツから飛び立っていきました。尾羽の縁の黒い部分が残りに、こちらも若い個体です。

○温根内木道周辺で観察された鳥 (2/15～3/14)

鳥 (和名は日本鳥類目録第8版の順)	7	オオワシ	14	クマゲラ	21	ヒヨドリ	
1	ヒシクイ	8	オジロワシ	15	ハシボソガラス	22	エナガ
2	オオハクチョウ	9	ノスリ	16	ハシブトガラス	23	ミソサザイ
3	タンチョウ	10	コゲラ	17	ヒガラ	24	ゴジュウカラ
4	ダイサギ	11	コアカゲラ	18	ハシブトガラ	25	キバシリ
5	ハイイロチュウヒ	12	アカゲラ	19	コガラ	26	ツグミ
6	トビ	13	オオアカゲラ	20	シジュウカラ	27	マヒワ

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事を開催しました ☆☆☆☆

○「湿原の裏山でスノーシューハイク」2月16日 参加者：13名 講師：藤原伸也 (温根内 VC 指導員)

ようやく十分な雪が積もったこの日、ビジターセンターの裏山に登っていつもの湿原を高い場所から見てみるスノーシューハイクを行いました。さっそく実際にスノーシューを装着し、まず平地で歩くコツを掴んだら裏手の丘を登り始めました。最初の登りが意外にしんどく息が上がるものの、登り切ると疲れも吹き飛ばすような湿原の眺望が待っていました。植生の違いで雪の積もり方が違う湿原を眺



め、しばし休息。そして次は下り。スノーシューで一歩一歩踏みしめると、急な下り坂でもブレーキが利くことを理解してもらい、初心者でも難なく下ることができました。途中、蔓性の植物やエゾシカ、エゾユキウサギなどの足跡が観察でき、鶴居軌道跡の湧き水付近ではタンチョウの足跡と糞を同時に発見することができました。雪の感触と景色を楽しみつつ、動植物の生態も垣間見られた盛りだくさんのハイクとなりました。

☆☆☆☆ 遊歩道がすべての区間通れるようになりました ☆☆☆☆

昨年秋から始めた木道の改修工事この度無事に終わり、遊歩道がすべての区間通れるようになりました。まだ遊歩道上にはところどころ雪が残っていますので、散策の際は足元に注意して歩いてください。新しくなった木道をぜひお楽しみください!



☆☆☆☆☆ 自然ふれあい行事 2025年度の予定 ☆☆☆☆☆

4月

【温根内木道の植物ダイジェスト】

20日(日) 10:00～12:00

温根内木道の年間を通した植物の見どころや観察のコツを座学形式で紹介しします。現在、参加者受付中!



5月

【早朝バードウォッチング】

18日(日) 8:00～10:00

鳥の活動が活発な早朝、釧路湿原とその周辺に集まり始めた夏鳥を探します。



6月

【初夏の花を見に行こう】

8日(日) 10:00～12:00

花の季節到来! 湿原を演出する可憐な花や目立たないスゲの花などを観察します。



7月

【夏の樹木を見に行こう】

6日(日) 10:00～12:00

緑あふれる夏。草木はどうやって花や実をつけ、次世代へとつないでいくのでしょうか。



【ホタルの週末】

18日(金)～19日(日) 18:30～21:00

釧路湿原に棲むヘイケボタル。そのふしぎな生態を学び、生息環境と光る姿を見に行きましょう。



8月

【夏休み! 植物をじっくり見てみよう】

3日(日) 10:00～12:00

植物を館内でじっくりと観察し、植物の多彩な表情と不思議な生態を覗いてみましょう。

【夏休み! ザリガニウォッチング ～ウチダザリガニ編～】

17日(日) 10:00～12:00

特定外来生物のウチダザリガニを捕獲し、外来種の脅威と湿原への影響を学びます。



9月

【アイヌの人々が利用した植物】

7日(日) 10:00～12:00

アイヌ民族が利用した春の植物を観察しながら、彼らの知恵を学びます。



10月

【ザリガニウォッチング2～ニホンザリガニ編～】

5日(日) 10:00～12:00

釧路湿原に棲む絶滅危惧種ニホンザリガニの生態を学び、生息環境を観察します。



【秋の紅葉を見に行こう】

19日(日) 10:00～12:00

紅葉の季節。鶴居軌道跡の樹木を中心に色づいた木々や実を見つけてみましょう。



11月

【初冬の植物を見に行こう】

9日(日) 10:00～12:00

本格的な冬を前に、植物がどのように冬を越す準備をしているのか観察します。



【クリスマスリースを作ろう】

23日(日) 13:00～15:00

クリスマスを前に、自然の素材を使ってオリジナルリースを作りましょう。



12月

【湿原の「かたち」を見て歩こう】

7日(日) 10:00～12:00

花や葉が枯れ落ち、遠くまで見渡せるこの時期。普段注目しない湿原周辺の「かたち」にスポットを当てます。



1月

【湿原アニマルトラッキング】

18日(日) 10:00～12:00

雪上に残る動物の痕跡から、冬の湿原にはどんな動物が暮らしているのか考えます。



2月

【湿原の裏山でスノーシューハイク】

15日(日) 10:00～12:00

残雪の裏山をスノーシューで歩き、雪解けを待つ植物などを観察します。



3月

【温根内の歴史を探訪しよう】

15日(日) 10:00～12:00

過去の写真などから、温根内周辺の現在までの歩みを紐解きます。



～開館時間が変わります～

4月からビジターセンターの開館時間が変わります。夏季(4/1～10/31)の開館時間は、**9:00から17:00まで**となります。

まだこちらは冷えますので、暖かい格好でお越しください。

月刊 温根内通信 No. 342

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

fFacebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00～16:00 (4月～10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日 (12/29～1/3は休館) 入館無料